

付録A 仕様

[1]インテル® Xeon® プロセッサ E7-8800/4800 製品ファミリー搭載時

製品名称		Express5800/A1080a-S					
製品型名		NE3100-001Y / NE3100-011Y(COPT対応モデル)					
搭載サーバ数		1 (最大4ソケット)					
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4807 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4820 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4830	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8830 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8850 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8870
	動作周波数	1.86GHz	2GHz	2.13GHz	2.13GHz	2GHz	2.4GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数			0/4			
	三次キャッシュ	18MB				24MB	30MB
コア数(C)/スレッド数(T) (1CPU)		6C/12T	8C/16T		10C/20T		
チップセット		インテル® 7500 チップセット *2					
メモリ	搭載容量 標準 / 最大	標準搭載なし (組み込み必須オプション) *3					
	搭載メモリ	DDR3L Registered DIMM					
	最大動作周波数	800MHz	978MHz	1066MHz			
	誤り検出・訂正	ECC, SDDC, DDDC					
オンラインスペアメモリ		対応					
メモリミラーリング		対応 (ソケット内、ソケット間ミラーリング)					
補助 記憶 装置	ドライブ	対応					
	ベイ	2.5型HDD: SAS 7.2TB (6x 1.2TB), 2.5型SSD: SAS 2.4TB (6x 400GB)					
	インタフェース	SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50/60 (オプション) *4					
	先デイスドライブ	DVD-ROM または DVD マルチドライブ(組み込み必須オプション) *5					
FDD		なし					
デバイスベイ		なし					
拡張スロット		6x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ソケット)(フルハイト, 167.6mmサイズ) *6 1x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ソケット)(フルハイト, 240mmサイズ)					
グラフィックス		XGI Volari Z8s / 64MB 1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024					
標準インタフェース		1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン), 5x USB2.0 (2x 前面, 2x 背面, 1x 内部) *7 2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)					
冗長電源		対応					
冗長ファン		対応 (標準)					
外形寸法 (幅x奥行x高さ)		448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)					
質量 (最大) [レール含む]		59.4kg [63.5kg]					
電源		2x 2200W(200V)/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応 電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3Hz					
消費電力(200V最大構成時, 待機時)		800VA / 784W	840VA / 824W	840VA / 824W	840VA / 824W	870VA / 853W	870VA / 853W
消費電力(200V最大構成時, 最大電力)		1877VA / 1840W	1917VA / 1879W	1917VA / 1879W	1917VA / 1879W	2017VA / 1977W	2017VA / 1977W
消費電力(100V最大構成時, 待機時)		819VA / 802W	860VA / 842W	860VA / 842W	860VA / 842W	890VA / 872W	890VA / 872W
消費電力(100V最大構成時, 最大電力)		1920VA / 1845W	1961VA / 1884W	1961VA / 1884W	1961VA / 1884W	2063VA / 1982W	2063VA / 1982W
発熱量(200V最大構成時)		6624KJ/h	6764KJ/h	6764KJ/h	6764KJ/h	7117KJ/h	7117KJ/h
省エネ法に基づきエネルギー消費効率*8		4.86 (L区)	3.44 (L区)	3.23 (L区)	3.23 (L区)	2.89 (L区)	2.40 (L区)
温度/湿度条件		動作時: 10~35°C *10 / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)					
主な添付品		EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerAgent, ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版), ユーザーガイド(電子マニュアル) 含む), スタートアップガイド, 保証書, ラックレール					
無償保証内容		3年オンサイト保守サービス(月~金, 9:00~18:00, 翌営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 3年パーツ保証					
サポートOS *11		NECサポート Windows Server® 2008 Enterprise/Datacenter (x64, SP2以降) Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter Windows Server® 2012 Standard/Datacenter *14 Windows Server® 2012 R2 Standard/Datacenter *14 Red Hat® Enterprise Linux® 5.6以降 (EM64T) *12 Red Hat® Enterprise Linux® 6.1以降 (x86_64) *12 VMware® ESX® 4.1(Update 1以降)/VMware® ESXi™ 4.1(Update 1) *13 VMware® ESXi™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5					

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは ミドルサイズ = 240mm、ショートサイズ = 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- メモリバップアには、低消費電力版のIntel®7512 スケールメモリバップアを採用。
- サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。
- Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- ライティングソフトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- 内蔵HDD使用時は、HDD6つにつき、DAC用1スロットを使用します(HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位: ギガ演算)で除したものです。2011年度基準で表示しております。
- 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- 40°C環境でも動作可能ですが、但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。
- COPT対応モデルはVMware ESX 4.1をサポートしていません。
- 既存の(導入済み)サーバに対してOSの入れ替えやCPUの追加をする場合は、パッケージ版、または、ボリュームライセンスを手配してください。

製品名称		Express5800/A1080a-S 長期保守対応モデル		
製品型名		NE3100-001L		
搭載サーバ数		1 (最大4ソケット)		
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4820 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8830 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8870
	動作周波数	2GHz	2.13GHz	2.4GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数		0/4	
	三次キャッシュ	18MB	24MB	30MB
	コア数(C)/スレッド数(T) (1CPU)		8C/16T	
チップセット		インテル® 7500 チップセット *2		
メモリ	搭載容量 標準 / 最大	標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 512GB (64x 8GB)		
	搭載メモリ	DDR3L Registered DIMM		
	最大動作周波数	978MHz	1066MHz	
	誤り検出・訂正	ECC, SDDC, DDDC		
	オンラインスベアメモリ	対応		
補助記憶装置	メモリミラーリング	対応 (ソケット内、ソケット間ミラーリング)		
	ドライブベイ	内蔵標準	-	
		内蔵最大	2.5型HDD: SAS 1.8TB (6x 300GB)	
		ホットスワップ	対応	
		インタフェース規格とRAID構成	SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50 (オプション) *4	
		光ディスクドライブ	DVD-ROM (組み込み必須オプション)	
拡張スロット	FDD	-		
	デバイスベイ	なし		
拡張スロット		6x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ソケット)(フルハイト, 167.6mmサイズ) *6 1x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ソケット)(フルハイト, 240mmサイズ)		
グラフィックス	搭載チップ / ビデオRAM	XGI Volari Z9s / 64MB		
	グラフィック表示と解像度	1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024		
標準インタフェース		1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン), 5x USB2.0 (2x 前面, 2x 背面, 1x 内部) *7 2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)		
冗長電源		対応		
冗長ファン		対応 (標準)		
外形寸法 (幅x奥行きx高さ)		448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)		
質量 (最大) [レール含む]		59.4kg [63.5kg]		
電源		2x 2200W(200V)/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3Hz		
消費電力(200V最大構成時, 待機時)		840VA / 824W	840VA / 824W	870VA / 853W
消費電力(200V最大構成時, 最大電力)		1917VA / 1879W	1917VA / 1879W	2017VA / 1977W
消費電力(100V最大構成時, 待機時)		860VA / 842W	860VA / 842W	890VA / 872W
消費電力(100V最大構成時, 最大電力)		1961VA / 1884W	1961VA / 1884W	2063VA / 1982W
発熱量(200V最大構成時)		6764KJ/h	6764KJ/h	7117KJ/h
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*8		3.44 (L区分)	3.23 (L区分)	2.40 (L区分)
温度/湿度条件		動作時: 10~35°C / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)		
主な添付品		EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版), ユーザーズガイド(電子マニュアル) 含む), スタートアップガイド, 保証書, ラックレール		
無償保証内容		1年オンサイト保守サービス(月~金, 9:00~18:00, 翌営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 1年パーツ保証		
サポートOS *11	NECサポート	Windows Server® 2008 Enterprise/Datacenter (x64, SP2以降) Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter Windows Server® 2012 Standard/Datacenter *14 Windows Server® 2012 R2 Standard/Datacenter *14 Red Hat® Enterprise Linux® 5.6 以降 (EM64T) *12 Red Hat® Enterprise Linux® 6.1 以降 (x86_64) *12 VMware® ESXi™ 4.1(Update 1以降) VMware® ESXi™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5		

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは ミドルサイズ = 240mm、ショートサイズ = 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- *1 CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- *2 メモリバッファには、低消費電力版のIntel®7512 スケーラブルメモリバッファを採用。
- *3 サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。
- *4 Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- *5 ライティングプルトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- *6 内蔵HDD使用時は、HDD6つにつき、DAC用に1スロットを使用します(HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- *7 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- *8 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位 ギガ演算)で除したものです。2011年度基準で表示しております。
- *9 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- *10 40°C環境でも動作可能です。但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- *11 サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- *12 NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要で、事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。
- *13 COPT対応モデルはVMware ESXi 4.1をサポートしていません。
- *14 既存の(導入済み)サーバに対してOSの入れ替えやCPUの追加をする場合は、パッケージ版、または、ボリュームライセンスを手配してください。

製品名称		Express5800/A1080a-D					
製品型名		NE3100-002Y / NE3100-012Y (COPT対応モデル)					
搭載サーバ数		2 (最大4ソケット)					
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4807 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4820 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4830	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8830 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8850 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8870
	動作周波数	1.86GHz	2GHz	2.13GHz	2.13GHz	2GHz	2.4GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数	[サーバあたり] 0/4					
	三次キャッシュ	18MB					
チップセット	コア数(C)/スレッド数(T) (1CPU)	6C/12T	8C/16T			10C/20T	
	搭載容量 標準 / 最大	[サーバあたり] 標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 1TB (64x 16GB) *3					
	搭載メモリ	DDR3L Registered DIMM					
メモリ	最大動作周波数	800MHz	978MHz	1066MHz			
	誤り検出・訂正	ECC, SDDC, DDDC					
	オンラインスベアメモリ	対応					
	メモリミラーリング	対応 (ソケット内、ソケット間ミラーリング)					
補助記憶装置	ドライブベイ	[サーバあたり] 2.5型HDD: SAS 7.2TB (6x 1.2TB), 2.5型SSD: SAS 2.4TB (6x 400GB)					
	内蔵標準	対応					
	内蔵最大	SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50/60 (オプション) *4					
	ホットスワップ	[サーバ共有] DVD-ROM または DVD マルチドライブ (組み込み必須オプション) *5					
拡張スロット	対応スロット	[サーバあたり] 6x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ソケット(フルハイト, 167.6mmサイズ)) *6 [サーバあたり] 1x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ソケット(フルハイト, 240mmサイズ))					
	搭載チップ / ビデオRAM	[サーバあたり] XGI Volari Z9s / 64MB					
グラフィックス	グラフィック表示と解像度	1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024					
	標準インターフェース	[サーバあたり] 1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン), 3x USB2.0 (2x 背面, 1x 内部) *7 [サーバ共有] 2x USB2.0 (2x 前面) *7 [サーバあたり] 2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) [サーバあたり] 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)					
冗長電源	対応 (標準)						
冗長ファン	対応 (標準)						
外形寸法 (幅x奥行きx高さ)	448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)						
質量 (最大) (レール含む)	75.5kg [79.6kg]						
電源	[サーバ共有] 4x 2200W (200V)/1100W (100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3Hz						
消費電力 (200V最大構成時, 待機時)	1558VA / 1527W	1683VA / 1650W	1683VA / 1650W	1683VA / 1650W	1723VA / 1689W	1723VA / 1689W	
消費電力 (200V最大構成時, 最大電力)	3321VA / 3256W	3401VA / 3333W	3401VA / 3333W	3401VA / 3333W	3601VA / 3529W	3601VA / 3529W	
消費電力 (100V最大構成時, 待機時)	1594VA / 1562W	1722VA / 1687W	1722VA / 1687W	1722VA / 1687W	1763VA / 1727W	1763VA / 1727W	
消費電力 (100V最大構成時, 最大電力)	3397VA / 3263W	3479VA / 3341W	3479VA / 3341W	3479VA / 3341W	3683VA / 3538W	3683VA / 3538W	
発熱量 (200V最大構成時)	11718KJ/h	11999KJ/h	11999KJ/h	11999KJ/h	12704KJ/h	12704KJ/h	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*8	4.05 (L区分)	- *9					
温度/湿度条件	動作時: 10~35°C *10 / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)						
主な添付品	EXPRESSBUILDER (ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent (Windows版/Linux版)), ユーザーズガイド (電子マニュアル) 含む, スタートアップガイド, 保証書, フラックレール						
無償保証内容	3年オンサイト保守サービス (月~金, 9:00~18:00, 翌営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 3年パーツ保証						
サポートOS *11	NECサポート	Windows Server® 2008 Enterprise/Datacenter (x64, SP2以降) Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter Windows Server® 2012 Standard/Datacenter *14 Windows Server® 2012 R2 Standard/Datacenter *14 Red Hat® Enterprise Linux® 5.6 以降 (EM64T) *12 Red Hat® Enterprise Linux® 6.1 以降 (x86_64) *12 VMware® ESXi® 4.1 (Update 1以降)/VMware® ESX™ 4.1 (Update 1) *13 VMware® ESXi™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5					

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは、ミドルサイズ = 240mm、ショートサイズ = 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- メモリバッドには、低消費電力版のIntel®7512 スケーラブルメモリバッドを採用。
- サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。
- Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- ライティングソフトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- 内蔵HDD使用時は、HDD6つにつき、DAC用に1スロットを使用します (HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位: ギガ演算)で除したもので、2011年度基準で表示しております。
- 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- 40°C環境でも動作可能です。但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。
- COPT対応モデルはVMware ESXi 4.1をサポートしていません。
- 既存の(導入済み)サーバに対してOSの入れ替えやCPUの追加をする場合は、パッケージ版、または、ボリュームライセンスを手配してください。

製品名称		Express5800/A1080a-D 長期保守対応モデル		
製品型名		NE3100-002L		
搭載サーバ数		2 (最大4ノック)		
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4820 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8830 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8870
	動作周波数	2GHz	2.13GHz	2.4GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数		[サーバあたり]0/4	
	三次キャッシュ	18MB	24MB	30MB
	コア数(CPU/スレッド数)(1CPU)		8C/16T	
チップセット		インテル® 7500 チップセット *2		
メモリ	搭載容量 標準 / 最大	[サーバあたり]標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 512GB (64x 8GB)		
	搭載メモリ	DDR3L Registered DIMM		
	最大動作周波数	978MHz		1066MHz
	誤り検出・訂正	ECC, SDDC, DDDC		
	オンラインスペアメモリ	対応		
補助記憶装置	メモリマラーリング	対応 (ノック内、ノック間マラーリング)		
	ドライブ	内蔵標準		
	ベイ	内蔵最大		
	ホットスワップ	[サーバあたり]2.5型HDD: SAS 1.8TB (6x 300GB)		
	インタフェース規格とRAID構成	対応		
拡張スロット	搭載チップ / ビデオRAM	SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50 (オプション) *4		
	光ディスクドライブ	[サーバ共有]DVD-ROM (組み込み必須オプション)		
	FDD	なし		
	デバイスベイ	なし		
	対応スロット	[サーバあたり]6x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ノック)(フルハイト, 167.6mmサイズ) *6 [サーバあたり]1x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ノック)(フルハイト, 240mmサイズ)		
グラフィックス	搭載チップ / ビデオRAM	[サーバあたり]XGI Volari Z9s / 64MB		
	グラフィックス表示と解像度	1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024		
標準インタフェース		[サーバあたり] 1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン), 3x USB2.0 (2x 背面, 1x 内部) *7 [サーバ共有] 2x USB2.0 (2x 前面) *7 [サーバあたり]2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) [サーバあたり]1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)		
冗長電源		対応		
冗長ファン		対応 (標準)		
外形寸法 (幅x奥行きx高さ)		448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)		
質量 (最大) [レール含む]		59.4kg [63.5kg]		
電源		[サーバ共有] 4x 2200W((200V)/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3Hz		
消費電力(200V最大構成時, 待機時)		1683VA / 1650W	1683VA / 1650W	1723VA / 1689W
消費電力(200V最大構成時, 最大電力)		3401VA / 3333W	3401VA / 3333W	3601VA / 3529W
消費電力(100V最大構成時, 待機時)		1722VA / 1687W	1722VA / 1687W	1763VA / 1727W
消費電力(100V最大構成時, 最大電力)		3479VA / 3341W	3479VA / 3341W	3683VA / 3538W
発熱量(200V最大構成時)		11999KJ/h	11999KJ/h	12704KJ/h
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*8			-*9	
温度/湿度条件		動作時: 10~35°C / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)		
主な添付品		EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版), ユーザーズガイド(電子マニュアル) 含む), スタートアップガイド, 保証書, ラックレール		
無償保証内容		1年オンサイト保守サービス(月~金, 9:00~18:00, 翌営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 1年ハード保証		
サポートOS *11	NECサポート	Windows Server® 2008 Enterprise/Datacenter (x64, SP2以降) Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter Windows Server® 2012 Standard/Datacenter *14 Windows Server® 2012 R2 Standard/Datacenter *14 Red Hat® Enterprise Linux® 5.6 以降 (EM64T) *12 Red Hat® Enterprise Linux® 6.1 以降 (x86_64) *12 VMware® ESX® 4.1(Update 1以降) VMware® ESXi™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5		

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは ミドルサイズ = 240mm 、ショートサイズ= 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- メモリバッファには、低消費電力版のIntel®7512 スケーラブルメモリバッファを採用。
- サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。
- Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- ライティングソフトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- 内蔵HDD使用時は、HDD6つにつき、DAC用に1スロットを使用します(HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位 ギガ演算)で除したものです。2011年度基準で表示しております。
- 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- 40°C環境でも動作可能です。但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。
- COPT対応モデルはVMware ESXi 4.1をサポートしていません。
- 既存の(薄み)サーバVに対してOSの入れ替えやCPUの追加をする場合は、パッケージ版、または、ボリュームライセンスを手配してください。

製品名称		Express5800/A1080a-E		
製品型名		NE3100-101Y / NE3100-111Y(COPT対応モデル)		
搭載サーバ数		1 (8ソケット)		
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8830 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8850 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8870
	動作周波数	2.13GHz	2GHz	2.4GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数		0/8	
	三次キャッシュ		24MB	30MB
	コア数(C)/スレッド数(T) (1CPU)	8C/16T		10C/20T
チップセット		インテル® 7500 チップセット *2		
メモリ	搭載容量 標準 / 最大	標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 2TB (128x 16GB) *3		
	搭載メモリ	DDR3L Registered DIMM		
	最大動作周波数	1066MHz		
	誤り検出・訂正	ECC, SDDC, DDDC		
	オンラインスベアメモリ	対応		
メモリミラーリング		対応 (ソケット間ミラーリング)		
補助記憶装置	ドライブ	-		
	内蔵標準	-		
	内蔵最大	2.5型HDD: SAS 14.4TB (12x 1.2TB), 2.5型SSD: SAS 2.4TB (6x 400GB)		
	ホットスワップ	対応		
	インタフェース規格とRAID構成	SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50/60(オプション) *4		
光ディスクドライブ		DVD-ROM または DVD マルチドライブ(組み込み必須オプション) *5		
FDD		-		
デバイスベイ		なし		
拡張スロット		12x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ソケット)(フルハイト, 167.6mmサイズ) *6 2x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ソケット)(フルハイト, 240mmサイズ)		
グラフィックス	搭載チップ / ビデオRAM	XGI Volari Z9s / 64MB		
	グラフィックス表示と解像度	1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024		
標準インタフェース		1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン), 5x USB2.0 (2x 前面, 2x 背面, 1x 内部) *7 2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)		
冗長電源		対応		
冗長ファン		対応 (標準)		
外形寸法 (幅x奥行きx高さ)		448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)		
質量 (最大) [レール含む]		75.1kg [79.2kg]		
電源		4x 2200W(200V)/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3Hz		
消費電力(200V最大構成時, 待機時)		1655VA / 1622W	1695VA / 1662W	1695VA / 1662W
消費電力(200V最大構成時, 最大電力)		3374VA / 3307W	3574VA / 3503W	3574VA / 3503W
消費電力(100V最大構成時, 待機時)		1693VA / 1659W	1734VA / 1699W	1734VA / 1699W
消費電力(100V最大構成時, 最大電力)		3451VA / 3315W	3656VA / 3511W	3656VA / 3511W
発熱量(200V最大構成時)		11905KJ/h	12611KJ/h	12611KJ/h
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*8		- *9		
温度/湿度条件		動作時: 10~35°C*10 / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)		
主な添付品		EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版), ユーザーズガイド(電子マニュアル) 含む), スタートアップガイド, 保証書, ラックレール		
無償保証内容		3年オンサイト保守サービス(月~金, 9:00~18:00, 翌営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 3年パーツ保証		
サポートOS *11	NECサポート	Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter (SP1以降) Windows Server® 2012 Standard/Datacenter *14 Windows Server® 2012 R2 Standard/Datacenter *14 Red Hat® Enterprise Linux® 5.6 以降 (EM64T) *12		
		Red Hat® Enterprise Linux® 6.1 以降 (x86_64) *12 VMware® ESXi® 4.1(Update 1以降)/VMware® ESXi™ 4.1(Update 1) *13 VMware® ESXi™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5		

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは ミドルサイズ = 240mm、ショートサイズ = 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- *1 CTO 生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- *2 メモリバッファには、低消費電力版のIntel®7512 スケーラブルメモリバッファを採用。
- *3 サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。
- *4 Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- *5 ライティングソフトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- *6 内蔵HDD使用時は、HDD6つにつき、DAC用に1スロットを使用します(HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- *7 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- *8 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位 キガワ演算)で除したもので、2011年度基準で表示しております。
- *9 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- *10 40°C環境でも動作可能です。但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- *11 サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- *12 NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。
- *13 COPT対応モデルはVMware ESXi 4.1をサポートしていません。
- *14 既存の(導入済み)サーバに対してOSの入れ替えやCPUの追加をする場合は、パッケージ版、または、ボリュームライセンスを手配してください。

製品名称		Express5800/A1080a-E 長期保守対応モデル	
製品型名		NE3100-101L	
搭載サーバ数		1 (8ソケット)	
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8830 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8870
	動作周波数	2.13GHz	2.4GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数	0/8	
	三次キャッシュ	24MB	30MB
	コア数(C)/スレッド数(T) (1CPU)	8C/16T	10C/20T
チップセット		インテル® 7500 チップセット *2	
メモリ	搭載容量 標準 / 最大	標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 1TB (128x 8GB) *3	
	搭載メモリ	DDR3L Registered DIMM	
	最大動作周波数	1066MHz	
	誤り検出・訂正	ECC, SDDC, DDDC	
	オンラインスベアメモリ	対応	
補助記憶装置	メモリミラーリング	対応 (ソケット間ミラーリング)	
	ドライブベイ	内蔵標準	2.5型HDD: SAS 3.6TB (12x 300GB)
	ホットスワップ	内蔵最大	対応
	インタフェース規格とRAID構成	SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50 (オプション) *4	
	光ディスクドライブ	DVD-ROM (組み込み必須オプション)	
拡張スロット	FDD	-	
	デバイスベイ	なし	
グラフィックス	対応スロット	12x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ソケット)(フルハイト, 167.6mmサイズ) *6 2x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ソケット)(フルハイト, 240mmサイズ)	
	搭載チップ / ビデオRAM	XGI Volari Z9s / 64MB	
標準インタフェース		1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024	
冗長電源		1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン), 5x USB2.0 (2x 前面, 2x 背面, 1x 内部) *7	
冗長ファン		2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)	
外形寸法 (幅x奥行きx高さ)		対応 (標準)	
質量 (最大) [レール含む]		448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む) 75.1kg [79.2kg]	
電源		4x 2200W(200V)/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3Hz	
消費電力(200V最大構成時, 待機時)		1655VA / 1622W	1695VA / 1662W
消費電力(200V最大構成時, 最大電力)		3374VA / 3307W	3574VA / 3503W
消費電力(100V最大構成時, 待機時)		1693VA / 1659W	1734VA / 1699W
消費電力(100V最大構成時, 最大電力)		3451VA / 3315W	3656VA / 3511W
発熱量(200V最大構成時)		11905KJ/h	12611KJ/h
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*8		-	
温度/湿度条件		動作時: 10~35°C / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)	
主な添付品		EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版), ユーザーズガイド(電子マニュアル) 含む), スタートアップガイド, 保証書, ラックレール	
無償保証内容		1年オンサイト保守サービス(月~金, 9:00~18:00, 翌営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 1年/パーツ保証	
サポートOS *11	NECサポート	Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter (SP1以降) Windows Server® 2012 Standard/Datacenter *14 Windows Server® 2012 R2 Standard/Datacenter *14 Red Hat® Enterprise Linux® 5.6 以降 (EM64T) *12 Red Hat® Enterprise Linux® 6.1 以降 (x86_64) *12 VMware® ESX® 4.1(Update 1以降) VMware® ESXi™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5	

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは ミドルサイズ = 240mm、ショートサイズ = 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- メモリバッファには、低消費電力版のIntel®7512 スケーラブルメモリバッファを採用。
- サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。
- Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- ライティングソフトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- 内蔵HDD使用時は、HDD6つにつき、DAC用に1スロットを使用します(HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位: ギガ演算)で除したものです。2011年度基準で表示しております。
- 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- 40°C環境でも動作可能です。但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。
- COPT対応モデルはVMware ESX 4.1をサポートしていません。
- 既存の(導入済み) サーバに対してOSの入れ替えやCPUの追加をする場合は、パッケージ版、または、ボリュームライセンスを手配してください。

製品名称		Express5800/A1040a				
製品型名		NE3100-005Y				
搭載サーバ数		1 (最大4ソケット)				
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4807 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4820 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-4830	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8850 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7-8870
	動作周波数	1.86GHz	2GHz	2.13GHz	2GHz	2.4GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数	0/4				
	三次キャッシュ	18MB				
	コア数(C)/スレッド数(T) (1CPU)	6C/12T	8C/16T	10C/20T	12C/24T	14C/28T
チップセット		インテル® 7500 チップセット *2				
メモリ	搭載容量 標準 / 最大	標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 1TB (64x 16GB) *3				
	搭載メモリ	DDR3L Registered DIMM				
	最大動作周波数	800MHz	978MHz	1066MHz	1066MHz	1066MHz
	メモリ検出・訂正	ECC, SDDC, DDDC				
	オンラインスペアメモリ	対応				
補助記憶装置	メモリミラーリング	対応 (ソケット内、ソケット間ミラーリング)				
	ドライブベイ	内蔵標準 2.5型HDD: SAS 14.4TB (12x 1.2TB), 2.5型SSD: SAS 2.4TB (6x 400GB)				
	内蔵最大ホットスワップ	対応				
	インタフェース規格とRAID構成	SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50/60 (オプション) *4				
	光ディスクドライブ	DVD-ROM または DVD マルチドライブ (組み込み必須オプション) *5				
拡張スロット	FDD	なし				
	デバイスベイ	なし				
	対応スロット	6x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ソケット) (フルハイト, 167.6mmサイズ) *6 1x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ソケット) (フルハイト, 240mmサイズ) *6				
	搭載チップ / ビデオRAM	XGI Volari Z9s / 64MB				
	グラフィック表示と解像度	1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024				
標準インタフェース		1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン), 5x USB2.0 (2x 前面, 2x 背面, 1x 内部) *7 2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) 1x マネジメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)				
冗長電源		対応				
冗長ファン		対応 (標準)				
外形寸法 (幅x奥行きx高さ)		448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)				
質量 (最大) (レール含む)		60.3kg [64.4kg]				
電源		2x 2200W(200V)/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3Hz				
消費電力(200V最大構成時, 待機時)		817VA / 801W	857VA / 840W	857VA / 840W	887VA / 870W	887VA / 870W
消費電力(200V最大構成時, 最大電力)		1986VA / 1947W	2026VA / 1986W	2026VA / 1986W	2126VA / 2084W	2126VA / 2084W
消費電力(100V最大構成時, 待機時)		836VA / 819W	877VA / 859W	877VA / 859W	908VA / 890W	908VA / 890W
消費電力(100V最大構成時, 最大電力)		2032VA / 1952W	2073VA / 1991W	2073VA / 1991W	2175VA / 2089W	2175VA / 2089W
発熱量(200V最大構成時)		7009KJ/h	7150KJ/h	7150KJ/h	7502KJ/h	7502KJ/h
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*8		4.47 (L区分)	3.17 (L区分)	2.97 (L区分)	2.66 (L区分)	2.22 (L区分)
温度/湿度条件		動作時: 10~35°C*10 / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)				
主な添付品		EXPRESSBUILDER(ESMPRO)ServerManager, ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版), ユーザーズガイド(電子マニュアル) 含む, スタートアップガイド, 保証書, ラックレール				
無償保証内容		3年オンサイト保守サービス(月~金, 9:00~18:00, 聖営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 3年/パーツ保証				
サポートOS *11	NECサポート	Windows Server® 2008 Enterprise/Datacenter (x64, SP2以降) Windows Server® 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter Windows Server® 2012 Standard/Datacenter *14 Windows Server® 2012 R2 Standard/Datacenter *14 Red Hat® Enterprise Linux® 5.6 以降 (EM64T) *12 Red Hat® Enterprise Linux® 6.1 以降 (x86_64) *12 VMware® ESX® 4.1(Update 1以降) VMware® ESXi™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5				

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは ミドルサイズ = 240mm、ショートサイズ = 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- *1 CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- *2 メモリバッファには、低消費電力版のIntel®7512 スケーラブルメモリバッファを採用。
- *3 サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。
- *4 Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- *5 ライティングソフトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- *6 内蔵HDD使用時は、HDD6につき、DAC用に1スロットを使用します (HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- *7 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- *8 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位 ギガ演算)で除したものです。2011年度基準で表示しております。
- *9 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- *10 40°C環境でも動作可能です。但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- *11 サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- *12 NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
- *13 Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。
- *14 COPT対応モデルはVMware ESXi 4.1をサポートしていません。
- *15 既存の(導入済み)サーバに対してOSの入れ替えやCPUの追加をする場合は、パッケージ版、または、ボリュームライセンスを手配してください。

[2]インテル® Xeon® プロセッサ 7500 番台搭載時

製品名称		Express5800/A1080a-S							
製品型名		NE3100-D01Y							
搭載サーバ数		1 (最大4ノック)							
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7520 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7540	インテル® Xeon®プロセッサ X7542 *1	インテル® Xeon®プロセッサ L7545 *1	インテル® Xeon®プロセッサ X7550	インテル® Xeon®プロセッサ L7555 *1	インテル® Xeon®プロセッサ X7560	インテル® Xeon®プロセッサ X7560
	動作周波数	1.86GHz	2GHz	2.66GHz	1.86GHz	2GHz	1.86GHz	2.26GHz	2.26GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数					0/4			
	三次キャッシュ					18MB			
コア数(C)/スレッド数(T) (1CPU)		4C/8T	6C/12T	6C/6T	6C/12T			24MB	
チップセット	搭載容量 / 標準 / 最大	インテル® 7500 チップセット							
	搭載メモリ	標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 1TB (64x 16GB) *2							
	最大動作周波数	800MHz	1066MHz	978MHz	1066MHz	978MHz	1066MHz	978MHz	1066MHz
	誤り検出・訂正	ECC, SDDC							
メモリ	オンラインペアメモリ	対応							
	メモリミラーリング	対応 (ノック内、ノック間ミラーリング)							
	ドライブ	2.5型HDD: SAS 5.4TB (6x 900GB), 2.5型SSD: SAS 2.4TB (6x 400GB)							
	ベイ	対応							
補助記憶装置	インタフェース規格とRAID構成	SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50 (オプション)*3							
	光ディスクドライブ	DVD-ROM または DVD マルチドライブ(組み込み必須オプション)*4							
	FDD	-							
	デバイスベイ	なし							
拡張スロット	対応スロット	6x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ノック)(フルハイト, 167.6mmサイズ) *5 1x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ノック)(フルハイト, 240mmサイズ)							
グラフィックス	搭載チップ / ビデオRAM	XGI Volari 29s / 64MB							
	グラフィックス表示と解像度	1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024							
標準インタフェース	ポート	1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠D-Sub9ピン), 5x USB2.0 (2x 前面, 2x 背面, 1x 内部)*6 2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)							
	冗長電源	対応							
外形寸法 (幅x奥行きx高さ)	対応(標準)	448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)							
質量 (最大) [レール含む]	対応(標準)	59.4kg [63.5kg]							
電源		2x 2200W(200V)/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3%							
消費電力(200V最大構成時, 待機時)	865VA/ 849W	908VA/ 890W	940VA/ 922W	965VA/ 849W	940VA/ 922W	865VA/ 849W	940VA/ 922W	940VA/ 922W	
消費電力(200V最大構成時, 最大電力)	1998VA/ 1958W	2058VA/ 2017W	2158VA/ 2115W	1998VA/ 1958W	2158VA/ 2115W	1998VA/ 1958W	2158VA/ 2115W	2158VA/ 2115W	
消費電力(100V最大構成時, 待機時)	885VA/ 867W	929VA/ 911W	962VA/ 943W	885VA/ 867W	962VA/ 943W	885VA/ 867W	962VA/ 943W	962VA/ 943W	
消費電力(100V最大構成時, 最大電力)	2044VA/ 2003W	2105VA/ 2063W	2208VA/ 2164W	2044VA/ 2003W	2208VA/ 2164W	2044VA/ 2003W	2208VA/ 2164W	2208VA/ 2164W	
発熱量(200V最大構成時)	7049KJ/h	7262KJ/h	7614KJ/h	7049KJ/h	7614KJ/h	7049KJ/h	7614KJ/h	7614KJ/h	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*7	8.63 (L区分)	5.57 (L区分)	4.37 (L区分)	5.80 (L区分)	4.39 (L区分)	4.37 (L区分)	3.88 (L区分)	3.88 (L区分)	
温度/湿度条件	動作時: 10~35°C/9 / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)								
主な添付品	EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版), ユーザーガイド(電子マニュアル) 含む), スタートアップガイド, 保証書, ラックレール(本体に添付済)								
無償保証内容	3年オンサイト保守サービス(月~金, 9:00~18:00, 翌営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 3年ハード保証								
サポートOS *10	NECサポート	Windows Server® 2008 Enterprise/Datacenter (x64, SP2以降) Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter Red Hat® Enterprise Linux® 5.5 以降 (EM64T)*11 VMware® ESX® 4.0(Update 1以降)/VMware® ESXi™ 4.0(Update 1, Update 2) VMware® ESX® 4.1/VMware® ESXi™ 4.1 VMware® ESXi™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5							

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは、ミドルサイズ=240mm、ショートサイズ=167.6mmまでを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- *1 CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- *2 サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。A1080a-Eでは1TBを超えるメモリ容量に対応しません。
- *3 Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- *4 ライティングソフトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- *5 内蔵HDD使用時は、HDD6につき、DAC用に1スロットを使用します(HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- *6 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- *7 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された顕微電力を、省エネ法で定める種合理論性能(単位: キワ演算)で除したものです。2011年度基準で表示しております。
- *8 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- *9 40℃環境でも動作可能ですが、但し、40℃環境で動作させる可能性のある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- *10 サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- *11 NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。

製品名称		Express5800/A1080a-D							
製品型名		NE3100-002Y							
搭載サーバ数		2 (最大4ノック)							
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7520 *1	インテル® Xeon®プロセッサ E7540	インテル® Xeon®プロセッサ X7542 *1	インテル® Xeon®プロセッサ L7545 *1	インテル® Xeon®プロセッサ X7550	インテル® Xeon®プロセッサ L7555 *1	インテル® Xeon®プロセッサ X7560	インテル® Xeon®プロセッサ X7560
	動作周波数	1.86GHz	2GHz	2.66GHz	1.86GHz	2GHz	1.86GHz	2.26GHz	2.26GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数	[サーバあたり] 0/4							
	三次キャッシュ	18MB							
チップセット	コア数(CPUスレッド数)(1CPU)	4C/8T	6C/12T	6C/6T	6C/12T			8C/16T	24MB
	チップセット	インテル® 7500 チップセット							
メモリ	搭載容量 標準 / 最大	[サーバあたり] 標準搭載なし(組み込み必須オプション) 1TB (64x 16GB) *2							
	最大動作周波数	800MHz	1066MHz	978MHz	1066MHz	978MHz	1066MHz	978MHz	1066MHz
	振り出し / 訂正	DDR3L Registered DIMM							
	オンラインスベアメモリ	対応							
補助記憶装置	メモリスレービング	対応 (ノック内、ノック間ミラーリング)							
	ドライブ	対応							
	ドライブベイ	[サーバあたり] 2.5型HDD: SAS 5.4TB (6x 900GB)、2.5型SSD: SAS 2.4TB (6x 400GB)							
	ホットスワップ	対応							
拡張スロット	対応スロット	[サーバあたり] 6x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン、x8ノック)フルハイ、167.6mmサイズ) *5 [サーバあたり] 1x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン、x16ノック)フルハイ、240mmサイズ)							
	搭載チップ / ビデオRAM	[サーバあたり] XGI Volari Z9s / 64MB							
	グラフィックス	1677万色、800x600、1.024x768、1.280x1.024							
標準インタフェース	搭載チップ / ビデオRAM	[サーバあたり] 1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン、1x 背面)、1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン、3x USB2.0 (2x 背面、1x 内部) *6 [サーバ共有] 2x USB2.0 (2x 前面) *6 [サーバあたり] 2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応、RJ-45、2x 背面) [サーバあたり] 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応、RJ-45、1x 背面)							
	グラフィックス表示と解像度	[サーバ共有] 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応、RJ-45、1x 背面)							
冗長電源	対応								
冗長ファン	対応 (標準)								
外形寸法 (幅x奥行x高さ)	448 x 714 x 307 mm (突起物含まず)、482 x 6 x 348 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)								
質量 (最大) [レール含む]	75.5kg [79.6kg]								
電源	[サーバ共有] 4x 2200W/(200V)/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%、50/60Hz±3Hz								
消費電力(200V最大構成時、待機時)	1705VA/ 1671W	1842VA/ 1806W	1885VA/ 1848W	1705VA/ 1671W	1885VA/ 1848W	1705VA/ 1671W	1885VA/ 1848W	1705VA/ 1671W	1885VA/ 1848W
消費電力(200V最大構成時、最大電力)	3576VA/ 3504W	3696VA/ 3622W	3896VA/ 3818W	3576VA/ 3504W	3896VA/ 3818W	3576VA/ 3504W	3896VA/ 3818W	3576VA/ 3504W	3896VA/ 3818W
消費電力(100V最大構成時、待機時)	1744VA/ 1709W	1884VA/ 1847W	1928VA/ 1890W	1744VA/ 1709W	1928VA/ 1890W	1744VA/ 1709W	1928VA/ 1890W	1744VA/ 1709W	1928VA/ 1890W
消費電力(100V最大構成時、最大電力)	3658VA/ 3585W	3780VA/ 3704W	3985VA/ 3905W	3658VA/ 3585W	3985VA/ 3905W	3658VA/ 3585W	3985VA/ 3905W	3658VA/ 3585W	3985VA/ 3905W
発熱量(200V最大構成時)	12615KJ/h	13040KJ/h	13745KJ/h	12615KJ/h	13745KJ/h	12615KJ/h	13745KJ/h	12615KJ/h	13745KJ/h
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*7	6.99 (L区分)	4.64 (L区分)	-*8	4.69 (L区分)	-*8	6.99 (L区分)	4.64 (L区分)	-*8	4.69 (L区分)
温度/湿度条件	動作時: 10~35°C/9 / 10~80%、保管時: -10~35°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)								
主な添付品	EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版)、ユーザーズガイド(電子マニュアル)含む)、 スタートアップガイド、保証書、ラックレール(本機に添付済)								
無償保証内容	3年オンサイト保守サービス(月~金、9:00~18:00、翌営業日対応、国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 3年パーツ保証								
サポートOS *10	NECサポート	Windows Server® 2008 Enterprise/Datacenter (x64、SP2以降) Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter Red Hat® Enterprise Linux® 5.5 以降 (EM64T)*11 VMware® ESX® 4.0(Update 1以降)/VMware® ESX™ 4.0(Update 1,Update 2) VMware® ESX® 4.1/VMware® ESX™ 4.1 VMware® ESX™ 5.0 VMware® ESX™ 5.1 VMware® ESX™ 5.5							

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは ミドルサイズ= 240mm 、ショートサイズ= 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- *1 CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- *2 サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。A1080a-Eでは1TBを超えるメモリ容量に対応しません。
- *3 Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- *4 ライティングソフトは添付されていません。Linux では、DVD-ROMのみに対応します。
- *5 内蔵HDD使用時は、HDD6つにつき、DAC用に1スロットを使用します(HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- *6 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- *7 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位 平方演算)で除したもです。2011年度基準で表示しております。
- *8 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- *9 40°C環境でも動作可能ですが、但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- *10 サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- *11 NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。

製品名称		Express5800/A1080a-E					
製品型名		NE3100-101Y					
搭載サーバ数		1 (8/ソケット)					
CPU	搭載CPU	インテル® Xeon®プロセッサ E7540	インテル® Xeon®プロセッサ X7542 *1	インテル® Xeon®プロセッサ L7545 *1	インテル® Xeon®プロセッサ X7550	インテル® Xeon®プロセッサ L7555 *1	インテル® Xeon®プロセッサ X7560
	動作周波数	2GHz	2.66GHz	1.86GHz	2GHz	1.86GHz	2.26GHz
	標準搭載数 / 最大搭載数	0/8					
	三次キャッシュ	18MB					
コア数(C)/スレッド数(T) (1CPU)		6C/12T	6C/6T	6C/12T	8C/16T		
チップセット		インテル® 7500 チップセット					
メモリ	搭載容量 標準 / 最大	標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 1TB *2					
	搭載メモリ	DDR3L Registered DIMM					
	最大動作周波数	1066MHz	978MHz	1066MHz	978MHz	1066MHz	
	振り出し・訂正	ECC, SDDC					
オンラインスペアメモリ		対応					
メモリミラーリング		対応 (ソケット間ミラーリング)					
補助記憶装置	ドライブ	内蔵標準					
	ベイ	内蔵最大					
	ホットスワップ	2.5型HDD: SAS 10.8TB (12x 900GB), 2.5型SSD: SAS 2.4TB (6x 400GB)					
	インタフェース規格とRAID構成	対応					
光ディスクドライブ		SAS 6Gb/s : RAID 0/1/5/6/10/50(オプション) *3					
FDD		DVD-ROM または DVD マルチドライブ(組み込み必須オプション) *4					
デバイスベイ		なし					
拡張スロット		12x PCI EXPRESS 2.0 (x8レーン, x8ソケット)(フルハイト, 167.6mmサイズ) *5 2x PCI EXPRESS 2.0 (x16レーン, x16ソケット)(フルハイト, 240mmサイズ)					
グラフィックス		XGI Volari Z9s / 64MB					
グラフィック表示 / ビデオRAM		1677万色: 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024					
標準インタフェース		1x アナログRGB (ミニD-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート (RS-232C規格準拠/D-Sub9ピン), 5x USB2.0 (2x 前面, 2x 背面, 1x 内部) *6 2x 1000BASE-T LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 2x 背面) 1x マネージメント用LANコネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応, RJ-45, 1x 背面)					
冗長電源		対応					
冗長ファン		対応 (標準)					
外形寸法 (幅x奥行きx高さ)		448 x 714 x 307 mm (突起物含まず), 482.6 x 848 x 307 mm (突起物/インナーレール含む)					
質量 (最大) [レール含む]		75.1kg [79.2kg]					
電源		4x 2200W (200V/1100W(100V) 80 PLUS® Gold 対応電源 (ホットプラグ対応) AC200V±10%/AC100V±10%, 50/60Hz±3Hz					
消費電力(200V最大構成時, 待機時)		1814VA/ 1778W	1857VA/ 1820W	1677VA/ 1644W	1857VA/ 1820W	1677VA/ 1644W	1857VA/ 1820W
消費電力(200V最大構成時, 最大電力)		3669VA/ 3596W	3869VA/ 3792W	3549VA/ 3478W	3869VA/ 3792W	3549VA/ 3478W	3869VA/ 3792W
消費電力(100V最大構成時, 待機時)		1856VA/ 1819W	1900VA/ 1862W	1716VA/ 1681W	1900VA/ 1862W	1716VA/ 1681W	1900VA/ 1862W
消費電力(100V最大構成時, 最大電力)		3753VA/ 3678W	3957VA/ 3878W	3630VA/ 3557W	3957VA/ 3878W	3630VA/ 3557W	3957VA/ 3878W
発熱量(200V最大構成時)		12946KJ/h	13652KJ/h	12521KJ/h	13652KJ/h	12521KJ/h	13652KJ/h
省エネ法に基づいたエネルギー消費効率*7		- *8					
温度/湿度条件		動作時: 10~35°C/9 / 10~80%, 保管時: -10~55°C / 20~80% (動作時/保管時ともに結露しないこと)					
主な添付品		EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent(Windows版/Linux版), ユーザーズガイド(電子マニュアル) 含む), スタートアップガイド, 保証書, ラックレール(本体に添付済)					
無償保証内容		3年オンサイト保守サービス(月~金, 9:00~18:00, 翌営業日対応, 国民の祝日および年末年始等のNEC指定日を除く) 3年パーツ保証					
サポートOS *10		Windows Server® 2008 Enterprise/Datacenter (x64, SP2以降) Windows Server® 2008 R2 Enterprise/Datacenter Red Hat® Enterprise Linux® 5.5 以降 (EM64T)*11 VMware® ESX® 4.1/VMware® ESXi™ 4.1 VMware® ESX™ 5.0 VMware® ESXi™ 5.1 VMware® ESXi™ 5.5					

注意事項

拡張スロット 搭載可能なボードの奥行きは ミドルサイズ = 240mm、ショートサイズ = 167.6mm までを示します。
騒音値/電力 騒音値、電力に記載されている待機時とはOS起動時ログイン前の状態を示します。

注釈

- CTO生産品となり、リードタイムが通常品と異なります。
- サーバ毎の利用可能な最大メモリ容量は、OS種別により異なります。A1080a-Eでは1TBを超えるメモリ容量に対応しません。
- Enterprise Linux with Dependable Support ではRAID1のみのサポートとなります。
- ライティングソフトは添付されていません。Linuxでは、DVD-ROMのみに対応します。
- 内蔵HDD使用時は、HDD6につき、DAC用に1スロットを使用します(HDDを7つ以上搭載する時はDAC用に2スロット使用)。
- 前面・背面ポートはキーボード、マウスの接続にも使用できます。
- エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位: ギガ演算)で除したものです。2011年度基準で表示しております。
- 本製品は、省エネ法(2011年度基準)の規制対象外です。
- 40°C環境でも動作可能です。但し、40°C環境で動作させる可能性がある場合、制限事項があります。詳細は、<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/>のシステム構成ガイドをご確認ください。
- サポートOSの詳細については、システム構成ガイドのOSサポート状況をご確認ください。
- NECからLinuxのサポートを受ける場合は、Enterprise Linux with Dependable Support の購入が必要です。事前に弊社担当営業までお問い合わせください。
Enterprise Linux with Dependable Support 利用時はプラットフォームサポートの契約を推奨します。

付録B システム診断のメッセージ一覧

(1) Errno

errno の内容を以下に示します。

errno	意味
1	Operation not permitted
2	No such file or directory
3	No such process
4	Interrupted system call
5	I/O error
6	No such device or address
7	Arg list too long
8	Exec format error
9	Bad file number
10	No child processes
11	Try again
12	Out of memory
13	Permission denied
14	Bad address
15	Block device required
16	Device or resource busy
17	File exists
18	Cross-device link
19	No such device
20	Not a directory
21	Is a directory
22	Invalid argument
23	File table overflow
24	Too many open files
25	Not a typewriter
26	Text file busy
27	File too large
28	No space left on device
29	Illegal seek
30	Read-only file system
31	Too many links
32	Broken pipe
33	Math argument out of domain of func
34	Math result not representable
35	Resource deadlock would occur
36	File name too long
37	No record locks available
38	Function not implemented
39	Directory not empty

40 Too many symbolic links encountered
42 No message of desired type
43 Identifier removed
44 Channel number out of range
45 Level 2 not synchronized
46 Level 3 halted
47 Level 3 reset
48 Link number out of range
49 Protocol driver not attached
50 No CSI structure available
51 Level 2 halted
52 Invalid exchange
53 Invalid request descriptor
54 Exchange full
55 No anode
56 Invalid request code
57 Invalid slot
59 Bad font file format
60 Device not a stream
61 No data available
62 Timer expired
63 Out of streams resources
64 Machine is not on the network
65 Package not installed
66 Object is remote
67 Link has been severed
68 Advertise error
69 Srmount error
70 Communication error on send
71 Protocol error
72 Multihop attempted
73 RFS specific error
74 Not a data message
75 Value too large for defined data type
76 Name not unique on network
77 File descriptor in bad state
78 Remote address changed
79 Can not access a needed shared library
80 Accessing a corrupted shared library
81 .lib section in a.out corrupted
82 Attempting to link in too many shared libraries
83 Cannot exec a shared library directly
84 Illegal byte sequence
85 Interrupted system call should be restarted
86 Streams pipe error
87 Too many users
88 Socket operation on non-socket
89 Destination address required
90 Message too long

91	Protocol wrong type for socket
92	Protocol not available
93	Protocol not supported
94	Socket type not supported
95	Operation not supported on transport endpoint
96	Protocol family not supported
97	Address family not supported by protocol
98	Address already in use
99	Cannot assign requested address
100	Network is down
101	Network is unreachable
102	Network dropped connection because of reset
103	Software caused connection abort
104	Connection reset by peer
105	No buffer space available
106	Transport endpoint is already connected
107	Transport endpoint is not connected
108	Cannot send after transport endpoint shutdown
109	Too many references: cannot splice
110	Connection timed out
111	Connection refused
112	Host is down
113	No route to host
114	Operation already in progress
115	Operation now in progress
116	Stale NFS file handle
117	Structure needs cleaning
118	Not a XENIX named type file
119	No XENIX semaphores available
120	Is a named type file
121	Remote I/O error
122	Quota exceeded
123	No medium found
124	Wrong medium type

(2) API ステータス

API ステータス(ATA Command)の内容を以下に示します。

Code	意味
0	正常
1	データ転送コマンドでバッファがない/ データバッファコマンドでバッファがある
2	ATA コマンドリクエストバッファ確保失敗
3	ATA コマンド(データ転送なし)失敗
4	ATA コマンド(データ転送あり)失敗

API ステータス(ATA IO)の意味は以下の通りです。

Code	意味
0	正常
1	データバッファがない
3	シーク失敗
4	リード/ライト失敗

(3) SCSI ターゲットステータス

SCSI ターゲットステータス(Target status)の内容を以下に示します。

Code	意味
00	Good
01	Check condition
02	Condition met
04	Busy
08	Intermediate
0A	Intermediate-condition met
0C	Reservation conflict
11	Command terminated
14	Queue full

(4) SCSI ホストステータス

SCSI ホストステータス(Host status)の内容を以下に示します。

Code	意味
00	No error
01	Could not connect before timeout period
02	Bus stayed busy through timeout period
03	Timeout for other reason
04	Bad target
05	Told to abort for some other reason
06	Parity error
07	Internal error
08	Reset by somebody
09	Got an interrupt we were not expecting

(5) SCSI ドライバステータス

SCSI ドライバステータス(Driver status)の内容を以下に示します。

Code	意味
00	No error
04	Internal driver error
05	Finished (host code 04 or 05)
06	Finished with timeout
07	Finished with fatal error
08	Had sense information available
10	Retry the SCSI request
20	Abort the request
30	Remap the block (not yet implemented)
40	Let the kernel panic
80	Get sense information from the device
FF	Nothing to be done

(6) センスコード

チェックコンディション発生時に表示するセンスコード(KEY/ASC/ASCQ)の内容を以下に示します。

KEY 意味

0	No sense
1	Recovered error
2	Not ready
3	Medium error
4	Hardware error
5	Illegal request
6	Unit attention
7	Data protect
8	Blank check
9	Vendor specific
A	Copy aborted
B	Abort command
C	Equal
D	Volume overflow
E	Miscompare
F	Reserved

ASC ASCQ 意味

00	00	No Additional sense information
00	01	Filemark detected
00	02	End-of-partition/medium detected
00	03	Setmark detected
00	04	Beginning-of-partition/medium detected
00	05	End of data detected
00	06	I/O process terminated
00	11	Audio play operation in progress
00	12	Audio play operation paused
00	13	Audio play operation successfully completed
00	14	Audio play operation stopped due to error
00	15	No current audio status to return
00	16	Operation in progress
00	17	Cleaning requested
01	00	No index/sector signal
02	00	No seek complete
03	00	Peripheral device write fault
03	01	No write current
03	02	Excessive write errors
04	00	Logical unit not ready, cause not reportable
04	01	Logical unit is in process of becoming ready
04	02	Logical unit not ready, initializing command required

04	03	Logical unit not ready, manual intervention required
04	04	Logical unit not ready, format in progress
04	05	Logical unit not ready, rebuild in progress
04	06	Logical unit not ready, recalculation in progress
04	07	Logical unit not ready, operation in progress
04	08	Logical unit not ready, long write in progress
05	00	Logical unit does not respond to selection
06	00	No reference position found
07	00	Multiple peripheral devices selected
08	00	Logical unit communication failure
08	01	Logical unit communication time-out
08	02	Logical unit communication parity error
08	03	Logical unit communication CRC error (ultra-DMA/32)
09	00	Track following error
09	01	Tracking servo failure
09	02	Focus servo failure
09	03	Spindle servo failure
09	04	Head select fault
0A	00	Error log overflow
0B	00	Warning
0B	01	Warning: specified temperature exceeded
0B	02	Warning: enclosure degraded
0C	00	Write error
0C	01	Write error: recovered with auto reallocation
0C	02	Write error: auto reallocation failed
0C	03	Write error: recommend reassignment
0C	04	Compression check miscompare error
0C	05	Data expansion occurred during compression
0C	06	Block not compressible
0C	07	Write error: recovery needed
0C	08	Write error: recovery failed
0C	09	Write error: loss of streaming
0C	0A	Write error: padding blocks added
10	00	ID CRC or ECC error
11	00	Unrecovered read error
11	01	Read retries exhausted
11	02	Error too long to correct
11	03	Multiple read errors
11	04	Unrecovered read error: auto reallocate failed
11	05	L-EC uncorrectable error
11	06	CIRC unrecovered error
11	07	Data resynchronization error
11	08	Incomplete block read
11	09	No gap found
11	0A	Miscorrected error
11	0B	Unrecovered read error: recommend reassignment
11	0C	Unrecovered read error: recommend rewrite
11	0D	De-compression CRC error
11	0E	Cannot decompress using declared algorithm

11	0F	Error reading UPC/EAN number
11	10	Error reading ISRC number
11	11	Read error: loss of streaming
12	00	Address mark not found for ID field
13	00	Address mark not found for data field
14	00	Recorded entity not found
14	01	Record not found
14	02	Filemark or setmark not found
14	03	End-of-data not found
14	04	Block sequence error
14	05	Record not found: recommend reassignment
14	06	Record not found: data auto-reallocated
15	00	Random positioning error
15	01	Mechanical positioning error
15	02	Positioning error detected by read of medium
16	00	Data synchronization mark error
16	01	Data sync error: data rewritten
16	02	Data sync error: recommend rewrite
16	03	Data sync error: data auto-reallocated
16	04	Data sync error: recommend reassignment
17	00	Recovered data with no error correction applied
17	01	Recovered data with retries
17	02	Recovered data with positive head offset
17	03	Recovered data with negative head offset
17	04	Recovered data with retries AND/OR CIRC applied
17	05	Recovered data using previous sector ID
17	06	Recovered data without ECC: data auto-reallocated
17	07	Recovered data without ECC: recommend reassignment
17	08	Recovered data without ECC: recommend rewrite
17	09	Recovered data without ECC: data rewritten
18	00	Recovered data with error correction applied
18	01	Recovered data with error correction & retries applied
18	02	Recovered data: data auto reallocated
18	03	Recovered data with CIRC
18	04	Recovered data with L-EC
18	05	Recovered data: recommend reassignment
18	06	Recovered data: recommend rewrite
18	07	Recovered data with ECC: data rewritten
19	00	Defect list error
19	01	Defect list not available
19	02	Defect list error in primary list
19	03	Defect list error in grown list
1A	00	Parameter list length error
1B	00	Synchronous data transfer error
1C	00	Defect list not found
1C	01	Primary defect list not found
1C	02	Grown defect list not found
1D	00	Miscompare during verify operation
1E	00	Recovered ID with ECC correction

1F	00	Partial defect list transfer
20	00	Invalid command operation code
21	00	Logical block address out of range
21	01	Invalid element address
22	00	Illegal function
24	00	Invalid field in CDB
25	00	Logical unit not supported
26	00	Invalid field in parameter list
26	01	Parameter not supported
26	02	Parameter value invalid
26	03	Threshold parameters not supported
26	04	Invalid release of active persistent reservation
27	00	Write protected
27	01	Hardware write protected
27	02	Logical unit software write protected
27	03	Associated write protected
27	04	Persistent write protected
27	05	Permanent write protected
28	00	Not ready to ready transition medium may have changed
28	01	Import or export element accessed
29	00	Power on, reset, or bus device reset occurred
29	01	Power on occurred
29	02	SCSI bus reset occurred
29	03	Bus device reset function occurred
29	04	Device internal reset
2A	00	Parameters changed
2A	01	Mode parameters changed
2A	02	Log parameters changed
2A	03	Reservations preempted
2B	00	Copy cannot execute since host cannot disconnect
2C	00	Command sequence error
2C	01	Too many windows specified
2C	02	Invalid combination of windows specified
2C	03	Current program area is not empty
2C	04	Current program area is empty
2D	00	Overwrite error on update in place
2F	00	Commands cleared by another initiator
30	00	Incompatible medium installed
30	01	Cannot read medium: unknown format
30	02	Cannot read medium: incompatible format
30	03	Cleaning cartridge installed
30	04	Cannot write medium: unknown format
30	05	Cannot write medium: incompatible format
30	06	Cannot format medium: incompatible medium
30	07	Cleaning failure
30	08	Cannot write: application code mismatch
30	09	Current session not fixated for append
31	00	Medium format corrupted
31	01	Format command failed

32	00	No defect spare location available
32	01	Defect list update failure
33	00	Tape length error
34	00	Enclosure failure
35	00	Enclosure services failure
35	01	unsupported enclosure function
35	02	enclosure services unavailable
35	03	enclosure services transfer failure
35	04	enclosure services transfer refused
36	00	Ribbon, ink, or toner failure
37	00	Rounded parameter
39	00	Saving parameters not supported
3A	00	Medium not present
3A	01	Medium not present: tray closed
3A	02	Medium not present: tray open
3B	00	Sequential positioning error
3B	01	Tape position error at beginning-of-medium
3B	02	Tape position error at end-of-medium
3B	03	Tape or electronic vertical forms unit not ready
3B	04	Slew failure
3B	05	Paper jam
3B	06	Failed to sense top-of-form
3B	07	Failed to sense bottom-of-form
3B	08	Reposition error
3B	09	Read past end of medium
3B	0A	Read past beginning of medium
3B	0B	Position past end of medium
3B	0C	Position past beginning of medium
3B	0D	Medium destination element full
3B	0E	Medium source element empty
3B	0F	End of medium reached
3B	11	Medium magazine not accessible
3B	12	Medium magazine removed
3B	13	Medium magazine inserted
3B	14	Medium magazine locked
3B	15	Medium magazine unlocked
3D	00	Invalid bits in identify message
3E	00	Logical unit has not self-configured yet
3E	01	Logical unit failure
3E	02	Timeout on logical unit
3F	00	Target operating conditions have changed
3F	01	Microcode has been changed
3F	02	Changed operating definition
3F	03	Inquiry data has changed
40	00	RAM failure
40	nn	Diagnostic failure on component nn
41	00	Data path failure
42	00	Power-on or self-test failure
43	00	Message error

44	00	Internal target failure
45	00	Select or reselect failure
46	00	Unsuccessful soft reset
47	00	SCSI parity error
48	00	Initiator detected error message received
49	00	Invalid message error
4A	00	Command phase error
4B	00	Data phase error
4C	00	Logical unit failed self-configuration
4D	nn	Tagged overlapped commands (nn = queue tag)
4E	00	Overlapped commands attempted
50	00	Write append error
50	01	Write append position error
50	02	Position error related to timing
51	00	Erase failure
52	00	Cartridge fault
53	00	Media load or eject failed
53	01	Unload tape failure
53	02	Medium removal prevented
54	00	SCSI to host system interface failure
55	00	System resource failure
55	01	System buffer full
57	00	Unable to recover table-of-contents
58	00	Generation does not exist
59	00	Updated block read
5A	00	Operator request or state change input (unspecified)
5A	01	Operator medium removal request
5A	02	Operator selected write protect
5A	03	Operator selected write permit
5B	00	Log exception
5B	01	Threshold condition met
5B	02	Log counter at maximum
5B	03	Log list codes exhausted
5C	00	RPL status change
5C	01	Spindles synchronized
5C	02	Spindles not synchronized
5D	00	Failure prediction threshold exceeded
5D	FF	Failure prediction threshold exceeded (false)
5E	00	Low power condition on
5E	01	Idle condition activated by timer
5E	02	Standby condition activated by timer
5E	03	Idle condition activated by command
5E	04	Standby condition activated by command
60	00	Lamp failure
61	00	Video acquisition error
61	01	Unable to acquire video
61	02	Out of focus
62	00	Scan head positioning error
63	00	End of user area encountered on this track

63	01	Packet does not fit in available space
64	00	Illegal mode for this track
64	01	Invalid packet size
65	00	Voltage fault
66	00	Automatic document feeder cover up
66	01	Automatic document feeder lift up
66	02	Document jam in automatic document feeder
66	03	Document miss feed automatic in document feeder
67	00	Configuration failure
67	01	Configuration of incapable logical units failed
67	02	Add logical unit failed
67	03	Modification of logical unit failed
67	04	Exchange of logical unit failed
67	05	Remove of logical unit failed
67	06	Attachment of logical unit failed
67	07	Creation of logical unit failed
68	00	Logical unit not configured
69	00	Data loss on logical unit
69	01	Multiple logical unit failures
69	02	Parity/data mismatch
6A	00	Informational, refer to log
6B	00	Stage change has occurred
6B	01	Redundancy level got better
6B	02	Redundancy level got worse
6C	00	Rebuild failure occurred
6D	00	Recalculate failure occurred
6E	00	Command to logical unit failed
70	nn	Decompression exception short algorithm ID of nn
71	00	Decompression exception long algorithm ID
72	00	Session fixation error
72	01	Session fixation error writing lead-in
72	02	Session fixation error writing lead-out
72	03	Session fixation error: incomplete track in session
72	04	Empty or partially written reserved track
73	00	CD control error
73	01	Power calibration area almost full
73	02	Power calibration area is full
73	03	Power calibration area error
73	04	Program memory area update failure
73	05	Program memory area is full
80-FF	nn	Vendor specific
nn	80-FF	Vendor specific

付録C OS毎の設定

OSのインストールおよびブートを行う場合、OSによってはBIOSの設定を出荷時の値から変更する必要があります。BIOSの設定の詳細は、ハードウェア編の「BIOSのセットアップ」を参照してください。最新のOSサポート状況は、システム構成ガイドを参考にしてください。システム構成ガイドは、以下URLから入手可能です。

<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/ha.shtml>

BIOSの設定	出荷時の設定	Windows Server 2008	Windows Server 2008 R2	Windows Server 2012/2012 R2	Red Hat Enterprise Linux 5	Red Hat Enterprise Linux 6*15	VMware ESX 4.0/4.1	VMware ESXi 4.0/4.1	VMware ESXi 5.0/5.1/5.5
ACPI Type *1	Type1	Type1	条件による *5	条件による *5	Type1	条件による *12	Type1	Type1	Type1
MMIOH *2	Disabled	Disabled	Disabled	Disabled	Disabled	Disabled	Disabled	Disabled	Disabled
OPROM *3	条件による *6	任意	任意	任意	任意	任意	任意	条件による *7	任意
Hyper-threading*4	Enabled	条件による *8	任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意
Execute Disable Bit*4	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled
Intel VT *4	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled	Enabled
x2APIC *4	条件による *9	Disabled	条件による *10 *11	条件による *14	Disabled	条件による *13	条件による *10	条件による *10	条件による *10

*1: BIOS SETUP メニュー → Advanced → OS Control を選択すると表示されます。

*2: BIOS SETUP メニュー → Advanced → PCI Subsystem Settings を選択すると表示されます。

*3: BIOS SETUP メニュー → Advanced → PCI Subsystem Settings → Slot Configuration を選択すると表示されます。

*4: BIOS SETUP メニュー → Advanced → CPU Configuration を選択すると表示されます。

*5: x2APIC が Enable に設定されている場合、Type2 に設定してください。x2APIC が Disable に設定されている場合、Type1 に設定してください。

*6: PCI-Express slot 1 と 14 は Enabled。その他のスロットは Disabled。

*7: PCI スロットに NE3108-003(1000BASE-T(4ch))を搭載する場合、該カードを搭載したスロットの PCI-Express 1 ~14 OPROM の項目を、Enabled に設定してください。

*8: A1080a-E モデル かつ システム Web コンソール → Core Status の Enable Core Count の項目の値が 33 以上の構成の場合、Disabled に設定してください。

*9: A1080a-E モデル(Xeon E7 搭載) かつ PMM#5/6/7/8 のいずれかが有効な場合は Enabled。それ以外は Disabled。

*10: Xeon7500 プロセッサが搭載されている場合、Disabled に設定してください。

*11: Hyper-V 機能をインストールまたは使用する場合 または Service Pack 1 未適用の場合は、Disabled に設定してください。

*12: x2APIC が Enable に設定されている場合、Type3 に設定してください。x2APIC が Disable に設定されている場合、Type1 に設定してください。

*13: A1080a-E モデル(Xeon E7 搭載) かつ PMM#5/6/7/8 のいずれかが有効な場合は Enabled。それ以外は任意（出荷時の設定を推奨）。

*14: Hyper-V 機能をインストールまたは使用する場合は、Disabled に設定してください。

*15: Red Hat Enterprise Linux 6.4 で BMC FW 3.2.1.1 より古いリビジョンの BMC FW を使用する場合は、CPU コアをサーバ当たり 2 コア以上有効にしてください。



チェック

- 各設定を変更した場合、内容を不揮発性メモリ内に保存し、リブートしてください。リブートするまで変更した値は反映されません。
- A1080a-D モデルでは、サーバ毎（サーバ1、サーバ2）に設定（変更から保存、リブートまで）を行う必要があります。各サーバでインストールするOSが異なる場合は、それぞれのサーバで異なる設定を行ってください。



重要

- OS ディスクをサーバ間(A1080a-S,A1080a-D Server1,A1080a-D Server2,A1080a-E,A1040a)で入れ替えて使用することは禁止です。かならず、OS のクリアインストールをお願いします。



重要

- VMware ESX/ESXi 稼働中、以下のオペレーションは実施しないでください。
 - ・SP Reset
 - ・Management Firmware のアップデート
 - ・USB デバイスの取り外し

付録D ファームウェアのライセンス情報

本製品には、マネージメントボードを制御することを目的としてファームウェアプログラムが組み込まれています。ファームウェアプログラムは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントから構成されています。それぞれのコンポーネントには、NEC または 第三者が規定するライセンス(著作権)が存在します。

本製品は、第三者が規定するライセンス条項に基づいてオープンソースソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しています。

以下に、本製品で使用しているソフトウェアコンポーネントのライセンス条項を記載します。なお、ライセンス条項はNEC以外の第三者により規定されているものであるため、原文(英文)を記載します。

□ 本製品には、以下に示すライセンスで規定される複数のソフトウェアコンポーネントを含みます。

対象となるコンポーネント：

Linux, BusyBox, U-Boot, crosstool, rstplib, lcdproc, readline

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the

Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest

your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt

otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing

to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR

REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>  
Copyright (C) <year> <name of author>
```

```
This program is free software; you can redistribute it and/or modify  
it under the terms of the GNU General Public License as published by  
the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or  
(at your option) any later version.
```

```
This program is distributed in the hope that it will be useful,  
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of  
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the  
GNU General Public License for more details.
```

```
You should have received a copy of the GNU General Public License along  
with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc.,  
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.
```

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author  
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.  
This is free software, and you are welcome to redistribute it  
under certain conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate

parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w` and `show c`; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

付録E 保守サービス会社網一覧

Express5800 シリーズ、および関連製品のアフターサービスは、お買い上げの弊社販売店、最寄りの弊社、または NEC フィールディング株式会社までお問い合わせください。以下 Web サイトにサービス拠点一覧を記載しております。

<http://www.fielding.co.jp/>

このほか、弊社販売店のサービス網がございます。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

トラブル等についてのご連絡は、下記の電話番号へおかけください（電話番号のおかけ間違いにご注意ください）。なお、保守契約をされている装置のトラブルにつきましては、契約時にお知らせしております契約専用電話（年中無休 24 時間受付）へおかけください。

【IT 機器の修理窓口】

修理受付センター(全国共通)	0120-536-111 (フリーダイヤル)
携帯電話をご利用のお客様	0570-064-211 (通話料お客様負担)
受付時間：AM9:00～PM5:00 土曜日、日曜日、祝祭日を除く	

NEC Express サーバ

Express5800 シリーズ

Express5800/A1080a-S

A1080a-D

A1080a-E

A1040a

ユーザーズガイド

2014 年 3 月 9 版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

TEL (03) 3454-1111 (大代表)

乱丁・落丁はお取替えします。

© NEC Corporation 2011 - 2014

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

＜本装置の利用目的について＞

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。

ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口 ファーストコンタクトセンター
電話番号 03-3455-5800

注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 準用品

回線への接続について

本装置では公衆回線や専用線への直接接続をしないでください。

レーザー安全基準について

この装置に標準で搭載されている光学ドライブは、レーザーに関する安全基準(JIS C 6802、IEC 60825-1)クラス1に適合しています。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。